

いきいきボランティア No.4

市内のボランティア団体として登録し、奉仕の精神をもって様々な活動を続ける皆さんを紹介するコーナーです。
問合せ ボランティア市民活動センター ☎(89) 2121



ハマヒルガオの群生地を訪ねて

しぜんめぐりし隊

会設立 平成12年
代 表 飯村扶美恵さん(埴谷)
会員数 20人

＜主な活動＞ 里山保全、子どもの健全育成、地域交流などを目的に自然観察会の実施。休耕田の活用など。



里山での田植え作業

「自分の住む地域の恵まれた自然を、体一杯に体感したいと歩き始めたことから、会がスタート。今は、中高年の山歩きになりました」と、代表の飯村さん。結成時から「しぜん案内人」として質問に答えてくれるのは、生物学会普及員の細川隆先生(写真右から4人目)。会の心強いアドバイザーです。

毎月第3土曜日は、近くの谷津田めぐりです。春には春の、冬には冬の自然を楽しみ、里山に咲く草花のひとつひとつから、鳥、そして食べられる野草探しなど、見て触って匂いを嗅いで!!山間を通り抜けるさわやかな風を肌で感じ、五感を振るに活用して自然と触れ合っています。

今月は、収穫祭を計画しています。皆さんも参加してみませんか。

編集後記

▼もう一つのオリンピックと呼ばれ、注目を高めたパラリンピックは、中国の北京で9月6日から12日間の会期を経て、閉幕しました。限界に挑む162人の日本人選手団、世界のアスリート達の熱い戦いに胸を熱くした方々多いと思います。視覚障害があり、今回100メートル走、走幅跳の陸上部門で出場した埼玉県代表の高田晃一選手。山武市に在住し、治療院を開業している波が、市役所を訪れ市長と固い握手をかわした8月19日の前後、交通事故というアクシデントに見舞われたとの報告を受けました。こうした状況下で挑んだ大会でしたが、「心残りはあるものの気持ちよく終わった。次の国体に向けて頑張りたい」という前向きな言葉に高田選手の強さをまざまざと見せ付けられた思いがしました。政府では今年からパラリンピックのメダル獲得選手にも報奨金を出すことを発表しましたが、全ての選手が恵まれた環境の中で戦えることを願いたいものです。(K)

▼「ヨーグルトにスプーンお付けしますか?」と店員さん、私は「いえいりません」すると「ありがとうございます」と言ってくれます。これがゴミの減量、CO2削減に繋がるのかなあと、スーパードで貰わないようにしています。これからはエコバックを誇らしげに使いたい。▽私が小学生の頃も夏は暑かったけど、最高気温34度、35度など無かった気が。『ゲリラ豪雨』と言う言葉も今年初耳。身の回りの環境は、気付かぬうちに変化しています。▽『出来る事からコツコツとチリも積めれば山となる』私の好きな言葉です。未来の子どものために、今出来る事から心がけようと思う今日この頃です。(T)

山武市の人口

(9月1日現在)

人口58,730人(一52)

男29,251人

女29,479人

世帯数

21,335(±0)

()は前月との比較

平成20年10月1日発行

編集・発行 山武市秘書広報課

〒289-1392 山武市殿台296

☎(80)1292(広報広報係)

ホームページアドレス <http://www.city.sammu.lg.jp/> メールアドレス hshokoho@city.sammu.lg.jp